

環境メッセンジャーへの道③—今、そこにある環境問題は何だろう？

東アジア環境ニュースステーション

東アジアの環境問題をわかりやすく伝えるニュース番組です。みなさんに参加していただく楽しいクイズもあります。どんどんチャレンジしてみてください。

日中間の環境問題を、二人のアナウンサー役と、一名のレポーター役がニュース番組仕立てで子供たちにもわかりやすく説明をしました。

PPTを使用し、大きなプラズマディスプレイでメッセンジャーの方たちに見やすくしました。アナウンサーたちのまえに皆さんに座っていただきます。その上でニュース形式で特集の内容を進行させます。アナウンサーの会話から、レポーター役への話題の転換、中継という形を取り入れて実際の現場の内容を説明した上で、来場者の方々へも地球環境のこの問題に対してどんなことを私たちは取り組んでいくことが出来るか一緒に考えてもらい、意見を言ってもらったりしました。番組の最後にクイズを取り入れ、全問正解をした方にはプレゼントを用意しました。環境問題を考えてもらうことや理解を深めるプログラムとして、参加型のニュースとして作成し、パビリオン全体の重要な内容を、分かりやすく説明した一つのプログラムでした。

【企画の詳細】

■特集1「越境漂着ゴミを追う！」

中国や韓国から日本に流れ着く“越境漂着ごみ”をとりあげ、対馬の様子を中心に伝えました。日本からのごみもアメリカや太平洋の島々に流れ着いているので、日本＝被害者、中韓＝加害者ということではないこともしっかりと伝えるということがこの特集で注意すべきことでした。

《内 容》

海の流れによって外国まで流れ着き、他の国の海岸を汚しているごみの現状を説明し、そのごみのことを「漂着ごみ」と呼ばれていることを説明します。そこで、まず、メインである日本と中国と韓国の三つの国のあいだに焦点を当てて考えます。

次に、アナウンサーたちがレポーター役に現場の状況を説明してもらうために場面を転換させます。ここでは、現場から中継という形を取りレポーター役は、漂着ごみで埋め尽くされた対馬の海岸の現状を伝えました。

そして、越境漂着ごみ問題の実態を知っていただいた上で、参加されている方々と共に、越境漂着ごみ問題を解決するために、どんなことができるのかを一緒に考えて意見を言っていただきます。「うーん」という難しい表情をされる方もいらっしゃいましたが、「ごみを捨てない」「ごみがきちんと処理されるように分別をしっかりとる」という答えに加えて、「ごみになるものを買わない」といったより根本的な回答も聞かれました。こうした遠くで起きている問題が、実は自分たちの身近な生活とつながっていることを、多くの方にご理解いただけたと思います。そして、会場での知識が、帰ってからの毎日の暮らしの変化につながることを願っています。

こうして来場者を交えての意見交換の後、最後のクイズに入ります。今までの要点を踏まえたうえで、問題を三択で選んでもらい、全問正解された方には景品をプレゼントしました。



対馬に流れ着いた漂着ごみ

Q1. どこから流れて来たのか わかりやすいごみは？

1. 使い捨てライター
2. ビニール袋
3. インスタントラーメンの袋

⇒ 正解は「1. 使い捨てライター」

Q2. レジ袋を買うことが法律で決められている国は？

1. 日本
2. 中国
3. 韓国

⇒ 正解は「3. 韓国」



子どもたちにもわかりやすく、心がけました

■特集2「絶滅の危機にある野生動物を守れ！」

日中韓で絶滅の危機にある野生動物を取り上げ、3ヶ国を行き交う渡り鳥“クロツラヘラサギ”に焦点を当てた特集を組みました。クロツラヘラサギの生息地である身近な干潟を守ることの重要性和日中韓の連携の重要性を感じてもらうのがポイントです。

《内 容》

まず初めに、現在の世界ではたくさんの野生生物が絶滅の危機にさらされていることを会場のみなさんに話題をふってみます。小学生や、小さい子供には、絶滅の意味がどんなものかもそこで確認をしつつ、東アジアではどれぐらいの野生生物が絶滅しかかっているのか、おおよその数を想像してもらい、答えてもらいます。

そのあと、アジアでの絶滅の危機に晒されている動物たちで有名な、アモイトラ、ジャイアントパンダ、アマミノクロウサギを順に取り上げ、そのあとでクロツラヘラサギに重点を置いて説明をします。

この鳥は、世界に1500羽程度しか生息しておらず、絶滅の危機に瀕した主な原因は、コンクリートで海岸を埋めるなどの行為で環境が変わったこと、クロツラヘラサギが主に食す魚介類が減ったこと、それから、食した魚介類から病気が移されることの3つです。クロツラヘラサギを保護していくためには、渡りのコースにあたる日本と中国と韓国の3カ国の協力が不可欠です。

この鳥が減少してきた原因を踏まえて、会場の皆さんに、クロツラヘラサギを守るためにどんなことができるかを質問し、会場全体でクロツラヘラサギを含め、絶滅していく野生動物たちに、私たちが何ができるかという理解を深め合います。最後にクイズに挑戦してもらい、全問正解者の方には景品をプレゼントし



クロツラヘラサギに扮したレポーターがインタビュー

Q1. クロツラヘラサギは何の仲間？

1. クジャク
2. フラミンゴ
3. トキ

⇒ 正解は「3. トキ」

Q2. 絶滅の危機にある野生動物が一番多い国は？

1. 日本
2. 中国
3. 韓国

⇒ 正解は「2. 中国」